

# みんなで考える これからのまちづくり

市町村合併問題ニュース  
第1号  
平成16年2月

発行：下川町役場総務課行財政改革推進室 電話4-2511(内線224)

## 上川北部6市町村 任意合併協議会解散

これまで広報などでお知らせしてきましたが、昨年の6月30日に上川北部5町村任意合併協議会(中川町、音威子府村、美深町、下川町、風連町)を設置し、その後9月30日に名寄市が加わり、上川北部6市町村任意合併協議会として、市町村合併問題について、合併の是非を判断するために必要な情報の取りまとめなどを行ってきました。

11月までに7回の協議会を開催し、6市町村で仮に合併した場合の「新しいまちの仕組みと将来構想」「財政状況」「住民生活に関わりの深い行政サービスや住民負担の見直し」などを検討してきました。

12月には、任意協議会で作成した資料と各市町村で作成した単独の将来推計をもとにそれぞれ住民懇談会を開催しました。

その結果、6市町村長は、「より小規模な合併を求める声が多く、6市町村の枠組みでは、住民の理解が得られない」として法定協議会移行は困難との認識で一致しました。

### 上川北部6市町村 任意合併協議会のこれまで

平成15年	
6月30日	上川北部5町村任意合併協議会設立総会 《規約制定、役員選出》
7月31日	第2回協議会 《会議運営規程制定、協議会基本姿勢承認》
9月9日	第3回協議会 《名寄市との関わり、合併判断材料の組み立てについて》
9月30日	第4回協議会 《名寄市正式加入、「上川北部6市町村任意合併協議会」に規約等一部改正、「基本原則」に関する統一見解、今後の全体日程について》
10月31日	第5回協議会 《財政シミュレーション、特定項目について》
11月15日	第6回協議会 《今後のまちづくりビジョンについて》
11月24日	第7回協議会 《住民説明資料について》
12月	各市町村住民懇談会開催
12-1月	美深町・名寄市・音威子府村各議会特別委員会で「小規模な枠組みでの合併をめざすべき」との方針
1月9日	6市町村長会議 《住民懇談会の住民意向を踏まえた協議の結果、6市町村での法定協議会移行は困難との認識で一致》
1月22日	任意合併協議会正副会長会議 《協議会解散を決定》
1月31日	任意協議会事務局解散

このことから1月22日に美深町で開催された任意合併協議会正副会長会議で正式に解散することが決定されました。

しかしながら、これまでの協議を通じて、住民に対し我がまちが直面する課題や今後のまちづくりについて、共に考え議論する一助になったことから言えば、協議会での取り組みは決

して無駄ではなく、今後改めて合併問題に取り組みに当たっては、役に立つものであると思われず。

合併問題につきましては、これからも検討を要しますが、6市町村の枠組みが白紙になつたことで、新たな枠組みや単独でいく場合の検討も、引き続き行っていくかなければなりません。

あらためて住民懇談会などみなさんからの意見を伺う機会を設けていきますので、様々な意見をお寄せください。

6市町村任意合併協議会が解散したことから、1月26日に島名寄市長が役場を訪れ、下川町、風連町、名寄市の枠組みによる合併協議の申し入れが行われました。

これに対し安齋町長は「今後、町民の意見を十分に聞いて、また、議会でも検討中であり、状況を踏まえた中で結論を出したい」と回答しました。

### 名寄市長訪問 新たな協議申し入れ

# あなたの意見を 聞かせてください 合併問題 住民懇談会を 開催します

昨年12月に開催しました住民懇談会では、町からの資料説明に多くの時間を掛けたことにより、みなさんからの十分な意見を伺うには時間が足りなかったことから、今回は意見交換を主な目的として次の日程で開催します。

今後の町の方向性を決める上でも重要な懇談会と考えています。対象公区を指定していますが、他会場への参加もできますので、より多くの方々に参加をいただき、様々な意見をお聞かせくださるようお願いいたします。

開催日	開始時間	会場	対象公区
2月18日(水)	午後1時30分 午後7時	南部会館 一の橋コミュニティセンター	班溪・桑の沢 一の橋
19日(木)	午後1時30分 午後7時	上名寄生活改善センター 末広会館	上名寄第1・2・3・川向 末広町・新町
20日(金)	午後7時	りんどう会館	中成・元町
23日(月)	午後1時30分 午後7時	緑町・三の橋会館 バスターミナル合同センター	溪和・三の橋 共栄町・旭町・緑町
25日(水)	午後1時30分 午後7時	二の橋会館 バスターミナル合同センター	二の橋・幸成 幸町・錦町・北町

## 若者から多様な意見 「合併問題しゃべらんかい」

昨年12月に開催した住民懇談会の中で、「将来の町を担う若者の参加が少ないので話しを聞く場を設けては」との意見が複数の会場からあり、また、町としても若い人の話しをもっと聞かなければとのことから、若者を中心とした意見交換の場として、「合併問題しゃべらんかい」を企画しました。

1月9日、14日の両日、総合福祉センター「ヒネス」で開催し、両日合わせて46名の方の参加があり、グループに分かれての討論では多様な意見が出されました。

### 主な意見は 次のとおりです

結論は急ぐべきではない合併でも単独でも厳しくなるのは同じ。リーダーが一定方向を見出すべきなぜ6市町村なのか。他の枠組みはどうなのか。他の安易な住民投票は住民への責任転嫁になる。積極的な情報提供を  
まずは行財政改革をすべき

### 市町村合併問題 ニュースの 発行について

これまで市町村合併問題については、広報や任意合併協議会などで作成した「協議会だより」などで情報提供を行ってきました。

今回、上川北部6市町村任意合併協議会は解散しましたが、市町村合併問題については、今後も単独か合併かを含めた中で、引き続き検討をしていかなければならず、これからも住民のみなさんにはできる限り多くの情報を提供するため「市町村合併問題ニュース」を発行します。

また、市町村合併に関する質問、意見などお気軽にお寄せください。

お問い合わせ  
役場総務課行財政改革推進室  
☎4-2511(内線224)

アンケート調査を行い住民の意思確認を  
町民の痛みを伴うが単独でいくべき  
世界で活躍するスポーツ選手  
の故郷をなくすべきではない  
将来的に合併しなければならぬ状況がでてくるのではないのか  
下川の名前を残すということ  
とだけでなく広く長いもの  
の見方をしないといけない  
合併したら森林などの財産  
はどうなるのか  
この先も合併の話が出てくるのであれば対等合併できるところに

合併は時代の流れであり逆らうと大変では  
行政課題をそのまま住民に  
投げ掛けられているように  
責任転嫁に思える  
当面は単独でいくべき  
合併して大きくなると地域  
が寂れる  
まずは雇用対策が必要  
名前にこだわりのないが  
より良い地域作りが大事  
町はビジョンを示すべき

